



- ☆☆育てたい「いまじゅくの子」☆☆
- い ○いきいきとした心と体をつくる子(体)
  - ま ○学びをいかそうとする子(知)
  - じ ○自分とみんなを大切にする子(徳)
  - ゆ ○ゆめをもち人の役に立とうとする子(公)
  - く ○くらしをよりよくしようとし世界に目を向ける子(開)



## 未来に生きる子どもたちの生きる力を付けるために

校長 島田恒弘

明けましておめでとうございます。コロナが5類に移行されて最初の正月でした。いかがお過ごしでしたでしょうか。今年一年が皆様にとって素敵な年となりますようにお祈り申し上げます。



12月8日(金)学校教育説明会 地域代表の皆様にご今年度の取組を説明しました。

6年生は「まち」や「地域」をよくするためにはどうしたらよいかと考え、「まちをきれいに」や「郷土料理」そして、「地域のお店」に着目して学習をすすめています。



体育館でドローンを操縦する4年生。このグループは、プログラムして目的地にドローンが到着するように試行錯誤していました。

こうした体験的な学習は、学校の中だけではできません。外部の講師を招いて、専門的な知識のある方に教えていただけて可能になります。

日々の学習は、これらの体験的な学習を支える基礎学力となります。国語も算数も他の教科も、教科書を読むためやテストでいい点数を取るためだけに学習しているではありません。

学んだことを生かし、人のために役立ったり、くらしをよりよくなったりすることこそ、学習する目的だと思います。そうしてがんばっていると、その活動が誰かに喜ばれて「ありがとう」と感謝され、自分が生きている価値や喜びを感じることができると感じます。これが生きる力です。

2030年までにSDGsの17の目標を達成し、100年後の宇宙船地球号が平和で幸せな星であり続けられるように、様々な取組を通して生きる力を育てていきたいと思っています。

今年もよろしくお願いいたします。

12月8日、学校教育説明会を校長室で行っている所へ6年生が入ってきました。

「総合の学習で、地域のみなさんが笑顔になるように、ケーキ作りをしています。もうすぐそのケーキができるのでまちの掲示板にそのポスターを掲示していいですか。あと、まちに出てゴミ拾いをしたいのですがいいですか。」

子どもたちの質問に「商品の宣伝をまちの掲示板に掲示することはできないけれど、ポスターを張らせてほしいと、みんなや友だちの家をお願いして、その家の塀に張ってもらったらどうですか。そうじはしてもらって大丈夫です。よろしく願います。」とお返事をいただきました。

体育館でドローンを操縦しているのは4年生です。今宿小学校では3年生でプログラミング体験教室を行い、端末にインストールしたアプリでゲームを作り、4年生でプログラミングを使って実際にドローンやロボットを動かす体験学習を実施しています。

ドローンと言えば遊園地などで華やかなショーで使われていますし、医療品や過疎地域の生活用品を輸送する手段としても使われています。

こうした体験を通して、地域をよりよくしようと課題を設定し、解決するために自分たちにできることを考え、行動し、壁にぶつかってまた考える、といった学習が、今宿小学校の教育目標である「学びを生かす」「夢をもち、人の役に立とうとする」「くらしをよりよくしようとし、世界に目を向ける」子の育成につながると考えています。